

JA 営農情報

№338 令和5年 11月号

稲刈後の作業

■稲わらのすき込み

稲刈りを終えたあとの稲わらは、土壌中にすき込んで土へ戻してあげましょう。気温が下がると分解までにかかる時間が長くなるため、できるだけ気温が高い年内にすき込むことをおすすめします。



※石灰窒素について

稲わらをすき込む前に石灰窒素を散布しておくことで、分解速度を早めることも可能ですので、必要に応じて活用してください。

○散布量の目安：10aあたり10～15kg



■農機具の清掃・点検

年内の大きな機械作業も終えて一息つきたいところですが、少しでも長く機械を使うためにも、使用した農機具の清掃及び点検を行うことをおすすめします。

- ・オイルの量や汚れを確認し、汚れがひどい場合は今のうちに交換しておきましょう。
- ・冷却水の量を確認し、特にラジエーター周辺等で液漏れがないか注意してください。
- ・ベルト類の張り具合は適正か、傷みや劣化等はないかしっかり確認しましょう。
- ・その他、エアクリーナーの汚れや農機具についた泥を洗い落としておきましょう。また、機械の中に籾や玄米が残っているとネズミや虫が侵入して次年度の作業に支障をきたす恐れがあるため、必ず取り出してください。

上記以外にも、取扱説明書に記載されている点検項目や保管方法を参考にして確実に整備・点検をしましょう。

※作業時は必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。



特定米穀(くず米・古米)買取のご案内

今年度も、例年どおり特定米穀の買取を実施します。

申込期日は11月9日(木)ですので、ご注意ください。

- 〇くず米(5年産)・・・量目設定25kg/袋
(1kg単位で端数受付します)
- 〇古米(4年産)・・・正味30kg(皆掛重量30.3kg)



※詳しくは『特定米穀の買取契約について』をご覧ください。

☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当JAが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。
直売所への持込が困難な方については、営農経済センターへ持込いただくか
ご自宅へ集荷にお伺いすることも可能です。

少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？

詳細についてはみしま館までお問い合わせください。 *TEL: 645-7100

《各種相談日のお知らせ》

	法 律 相 談 隔月第2木曜日	税 務 相 談 隔月第4金曜日	住宅ローン・資産相談 毎月第3土曜日	介 護 相 談 随 時 受 付
1 1 月	9日	—	1 8日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽に お問い合わせ下 さい。 <u>介護支援センター</u> <u>TEL：627-7767</u>
1 2 月	—	※15日	1 6日	
1 月	1 1日	—	2 0日	
【実施場所】 農協会館（JA茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後1時～午後4時 定員は3名ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） ふれあい・福祉課 TEL：627-7768 ※12月の税務相談は第3金曜日に実施します。			【実施場所】 JA茨木市 各支店	



ご利用ください

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL: 641-9150

【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL: 641-9050